

— 公開シンポジウム —

女性の移動と旅

女性の移動、旅を阻んできたものとはなにか？
それでも、なぜ女性たちは旅に出たのか？
なにを見て、なにを体験したのか？



2026年

8月30日 日

13:15 開場 13:30～16:50

参加無料・事前申込不要



島根大学松江キャンパス
法文学部棟 多目的室1

※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

主催

- ・ 科研基盤 B「『乗り物と女性』に関する歴史研究：近代日本の鉄道・自転車・自動車」
- ・ 法文学部基幹プロジェクト（研究）
【「モビリティ研究：歴史・言語・文化・経済・社会」
「山陰におけるジェンダー研究拠点」】

共催

- ・ SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク
- ・ 島根大学戦略的機能強化推進経費
SDGs研究プロジェクト

お問い合わせ

島根大学法文学部 言語文化学科
浜田 幸絵
E-mail: s.hamada@soc.shimane-u.ac.jp

プログラム

報告

- 1 史料から見えてくる幕末女性の旅事情
— 手銭さの子の伊勢・上方旅行を事例に —
野本 瑠美（島根大学）、佐々木 杏里（手銭美術館）
- 2 戦後日本における女性と旅
— 旅行の大衆化とデスティネーションとしての山陰 —
浜田 幸絵（島根大学）
- 3 女性の移動と月経
平山 昇（神奈川大学）

全体討論＋質疑応答

討論者 山村 明子（東京家政学院大学）
中安 恵一（島根県文化財課）

司会 福井 栄二郎（島根大学）

